

# 人権尊重都市鳥取市の実現をめざして

## ネット社会における「デジタル性暴力」を防ぐために

☎ 本庁舎人権推進課 (43 番窓口) ☎ 0857-30-8071 ☎ 0857-20-3945  
 ☎ 本庁舎男女共同参画課 (43 番窓口) ☎ 0857-30-8076 ☎ 0857-20-3945



**デジタル性暴力とは**  
 デジタル性暴力とは、例えば、「同意をしていないのに、性的な写真や動画を撮影された」「撮影された性的な写真や動画が SNS やアダルトサイトで拡散している」など、デジタル機器などを用いた性暴力被害のことです。スマートフォンや SNS の普及により写真や動画を使ったコミュニケーションが身近になるともなっており、深刻化しています。年齢・性別問わず誰もが被害者にも加害者にもなり得る問題なのです。

**デジタル性暴力の特徴**  
 写真や動画などのデジタルデータは、ネット上に簡単に投稿でき、拡散されると完全に削除することが困難になります。そのため、デジタル性暴力の被害は、誰かに自分の性的な写真や動画を見られるのではないかとという不安感や恐怖感つきまといまわります。仮に、ネット上で見つけることができず、毎日のようにネットを検索してしまうなど、実生活に影響が出て、心のケアが必要になります。

**ネット上では面識のない相手と簡単につながることができます。初対面でも親身になって相談を聞いてもらうと信頼してしまい、少しいやだと思っても、相手に要求されるまま画像を送ってしまい被害に遭います。また交際相手など信用する身近な人間から撮影を要求され嫌々でも応じ**

毎年11月12日から25日は、国が提唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。今回は、近年若い世代を中心に被害が増えている「デジタル性暴力」についてご紹介します。

**大切にしたい考え方**  
 私たちは、成長するとともに自分と他人との境界線が徐々に形成され、境界線を越えて自分を脅かしてくるものを感じたり拒むことができなくなったりします。子どものうちは、他人との距離感が近くなりやすく、さらに、実際に接することがない SNS では、境界線が曖昧になります。健全な人間関係を保つためには、心や身体における自分と他人との境界線（バウンダリー）を認識することが大切です。

**性暴力被害者支援センター「クローバーとっとり」**

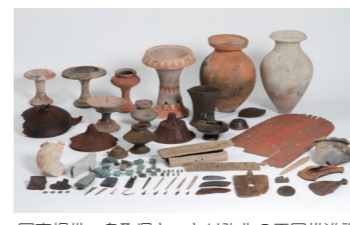
- ・県内専用無料ダイヤル 0120-946-328
- ・全国共通短縮ダイヤル #8891

最寄りの支援センターに繋がります。

ライトアップ」や、男女共同参画センターや中央図書館などでの啓発展示を行っています。性別などを問わず、性暴力は決して許されるものではありません。被害に遭われた人は、一人で悩まず、まずは相談をしてみませんか。



問い合わせ先 本庁舎文化財課 (58 番窓口) ☎ 0857-30-8421 ☎ 0857-20-3954



国史跡に指定され、秀麗な出土遺物は令和元年7月に国重要文化財に指定されました。

青谷上寺地遺跡展示館は、青谷上寺地遺跡の発掘調査で新発見が相次ぐ中、出土した遺物を青谷で見たいという市民の声に後押しされて、本格的なガイダンス施設が整備されるまでの間、仮施設として平成13年8月に開館しました。以降、青谷上寺地遺跡の情報発信の拠点施設として県内外の人に親しまれ、これまでに24万人を超える来館者がありました。本遺跡は極めて重要性が高いことから、平成20年3月に



令和6年3月に県立青谷かみじち史跡公園の一部と国重要文化財の展示室や体験スペースを備えたガイダンス施設が完成し、役割を新たな施設へバトンタッチすることから、11月23日をもって閉館することになりました。最終日には、県立青谷かみじち史跡公園のにぎわい交流広場をメイン会場に、展示館をサテライト会場として青谷かみじちフェスタが開催されます。また、展示館では閉館日まで多くの体験イベントやミニ講演会を開催し、最後まで盛り上げていきます。多くのおみさんに送っていただき、ありがとうございます。お待ちしております。

**青谷上寺地遺跡展示館**  
 入館料 無料  
 開館時間 9:00～17:00 ※最終入館 16:30  
 休館日 11月6・13・20日(月)

**ミニ講演会 青谷上寺地遺跡の思い出**  
 とき 11月18日(土) 14:00-15:00  
 講師 井上貴央さん(鳥取大学名誉教授)  
 参加費 無料 ※予約不要

**閉館式典**  
 とき 11月23日(木・祝) 16:50～  
 ところ 青谷上寺地遺跡展示館ロビー

**青谷かみじちフェスタ**  
 とき 11月23日(木・祝) 10:00～15:00  
 内容 「青谷上寺朗」のそっくりさんが再びやってくる他、飲食・物販、弥生人体験コーナー、展示・見学コーナーなど